

第47号

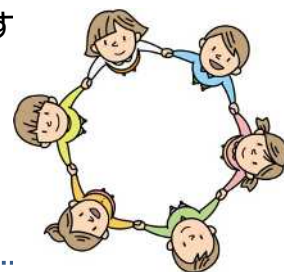
# 人権だより ながいと



2018年2月15日発行  
糸島市人権・同和教育推進協議会長系支部

長系校区の皆さん、こんにちは  
 市同協長系支部では「長系人権まちづくり」を目指して1年間活動してきました。  
 人権コンサート、人権映画祭、フィールドワークなど、これらの取り組みでは  
 校区の皆さんには多くの参加、協力を頂きました。本当に有難うございました。  
 人権は、誰もが生まれながら持っている幸せになる権利です  
 しかし現在も人権をめぐる様々な問題が生じています。  
 今後も「人権の花咲く長系」を目指し  
 皆さんと共に活動を進めてまいります。

市同協長系支部長 牧園 保男



## 平成29年度活動報告

四者交流会 平成29年7月28日(金)19:00~

今年も会場には若い保護者の方から校区の役員さん、そして小学校・中学校の先生方も含め  
 多くの方たちにご参加いただき、例年同様、活発な意見交流が行われました。テーマは、昨年に  
 引き続き『性のグラデーション』を取り入れました。例年であれば年ごとにテーマを変えて広く  
 人権課題を学習していましたが、昨年の『LGBT』に関するアンケートの中で“わかりづらい”  
 といった意見が多かったため、尻切れトンボにならないよう再度の学習設定をしました。  
 いざ始まってみると各グループ共に白熱した意見交流が見られ  
 終了時間も忘れるほどのとても良い学習会になりました。



身近な例題からLGBTを考えました



活発な意見交換が行われたグループ討議





# 人権映画祭『徘徊～ママリン 87歳の夏～』

平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13:15～



『徘徊』。それは当事者の方にとっては何とも身につまされるような言葉であり、いつか自分自身もそうなるのかという人生の課題でもあります。今回は、家族の中における人権問題として上映することにしました。

内容的には明るいタッチで描かれており、重いテーマを感じさせないような雰囲気に参加者の意見も好評でした。

人権作文では地元在住の前原中学校 3 年生、古藤隆人さんによる「ばあちゃんから聞いた戦争体験」でした。ばあちゃんの言葉で語られる戦時中の出来事は孫にもしっかり伝承され後世へ語り継ぐ大事な役目を背負っている貴重な作文でした。また、インタビューにも力強く答えてくれた人柄に会場から大きな拍手が送られました。



満員となった会場

力強い作文発表

## 合同フィールドワーク～人権の視点で糸島の歴史を辿る～

平成 30 年 2 月 4 日 (日) 9:00～

今年度は糸島市内の 2 か所を回る日帰り研修でした。

最初の訪問先は「志摩歴史資料館」、続いてハンセン病の薬を製造販売されていた「蓮照寺」でした。参加者の中には何度も訪れた人、初めての人それぞれでしたが、内容的には非常に中身の濃い研修であったと思います。

特に蓮照寺では、ご住職のやさしい語り口ながらも早くからハンセン病の状況を熟知、研究しながら特効薬を製造販売して多くの方を救った歴史が語られたことはとても有意義なことであったと参加者の誰もが思ったことでしょう。

地元にはまだまだ知られていない歴史が埋もれている可能性があることを探りながら今後も続けていきたいと思います。



筒井指導員による解説  
(志摩歴史資料館)



貴重な資料の数々  
(蓮照寺)



原田住職による解説  
(蓮照寺)

